



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月28日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6807 URL <https://www.jae.com>  
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 小野原 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 青木 和彦 (TEL) 03-3780-2752  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	157,124	△11.9	11,097	△28.3	11,221	△31.0	8,731	△26.2
2019年3月期第3四半期	178,382	△7.2	15,468	△4.4	16,260	8.2	11,834	7.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 8,102百万円(△32.6%) 2019年3月期第3四半期 12,023百万円(△1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	96.02	96.01
2019年3月期第3四半期	130.17	130.14

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	195,842	136,243	69.5
2019年3月期	186,605	131,712	70.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 136,063百万円 2019年3月期 131,539百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	△8.6	14,500	△16.2	14,000	△22.4	10,500	△22.3	115.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. (3) 四半期連結財務諸表及び主な注記(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	92,302,608株	2019年3月期	92,302,608株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	1,347,249株	2019年3月期	1,382,826株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	90,936,857株	2019年3月期3Q	90,910,702株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 6
(継続企業の前提に関する注記)	P 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P 6
(会計方針の変更)	P 6
(会計上の見積りの変更)	P 6
(セグメント情報等)	P 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、通商問題をめぐる不確実性と地政学的リスクの高まりから減速感が増しました。米国経済は通商問題の影響により製造業の景況感が低下し、中国経済では内需の低迷に加え、輸出の減速が続きました。わが国経済においても個人消費は堅調に推移したものの、輸出の伸び悩みから足踏み感が継続しました。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場においては、携帯機器市場の成熟化のなかで中国スマートフォン市場では若干の成長回復が見られたものの、自動車市場は世界的な販売台数の減少を背景に需要が低迷しました。また、産業機器市場も中国における設備投資抑制による停滞が継続するなど、総じて厳しい事業環境下で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、主力のコネクタ事業を中心に、成長市場・機器に対し、積極的なグローバルマーケティングと新製品開発活動のスピードアップによる受注・売上の拡大を図るとともに、内製化の更なる強化によるコストダウン、設備効率化及び諸費用抑制など経営全般にわたる効率化を推進し業績向上に努めました。しかしながら各市場で需要減少の影響を受けたことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,571億24百万円（前年同期比88%）、利益面においては、営業利益110億97百万円（前年同期比72%）、経常利益112億21百万円（前年同期比69%）、親会社株主に帰属する四半期純利益87億31百万円（前年同期比74%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権や有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ92億37百万円増加の1,958億42百万円となりました。

負債は、約定返済による借入金の減少がありましたが、仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ47億6百万円増加の595億99百万円となりました。

純資産は、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ45億31百万円増加の1,362億43百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想（通期）及び配当予想（期末）につきましては、2019年10月28日に公表いたしました予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,192	44,948
受取手形及び売掛金	35,685	39,593
たな卸資産	18,012	20,522
その他	7,103	8,853
貸倒引当金	△80	△64
流動資産合計	107,913	113,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,566	25,260
機械装置及び運搬具（純額）	18,662	20,586
工具、器具及び備品（純額）	8,056	9,695
土地	6,471	6,585
建設仮勘定	6,542	6,428
有形固定資産合計	65,299	68,557
無形固定資産	3,128	2,696
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,607	3,873
その他	6,795	7,000
貸倒引当金	△138	△138
投資その他の資産合計	10,264	10,735
固定資産合計	78,692	81,988
資産合計	186,605	195,842

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,044	38,220
短期借入金	4,914	3,714
未払法人税等	1,735	2,070
取締役賞与引当金	120	64
その他	10,142	9,477
流動負債合計	47,956	53,546
固定負債		
長期借入金	4,344	3,487
退職給付に係る負債	873	761
その他	1,718	1,803
固定負債合計	6,936	6,052
負債合計	54,893	59,599
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,523	14,555
利益剰余金	104,873	109,967
自己株式	△1,052	△1,026
株主資本合計	129,034	134,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,236	1,144
為替換算調整勘定	498	△2
退職給付に係る調整累計額	769	733
その他の包括利益累計額合計	2,504	1,875
新株予約権	172	179
純資産合計	131,712	136,243
負債純資産合計	186,605	195,842

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	178,382	157,124
売上原価	145,376	129,037
売上総利益	33,005	28,086
販売費及び一般管理費	17,537	16,988
営業利益	15,468	11,097
営業外収益		
受取利息	59	85
受取配当金	115	60
為替差益	891	—
受取補償金	—	544
その他	261	103
営業外収益合計	1,327	793
営業外費用		
支払利息	43	44
固定資産除却損	416	120
為替差損	—	442
その他	74	63
営業外費用合計	535	670
経常利益	16,260	11,221
特別利益		
固定資産売却益	—	733
特別利益合計	—	733
税金等調整前四半期純利益	16,260	11,954
法人税、住民税及び事業税	4,540	3,431
法人税等調整額	△114	△208
法人税等合計	4,426	3,222
四半期純利益	11,834	8,731
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,834	8,731

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	11,834	8,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△319	△92
為替換算調整勘定	562	△500
退職給付に係る調整額	△53	△36
その他の包括利益合計	188	△629
四半期包括利益	12,023	8,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,023	8,102
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が268百万円増加し、流動負債の「その他」が63百万円及び固定負債の「その他」が209百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

当社は、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(15年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を14年に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	160,323	6,276	11,119	662	178,382	—	178,382
セグメント利益(注)1	17,051	408	1,294	158	18,912	△3,444	15,468

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費3,444百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	139,866	6,161	10,556	539	157,124	—	157,124
セグメント利益 又は損失(△)(注)1	13,576	△436	1,136	165	14,442	△3,344	11,097

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費3,344百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。